

# Ⅰ 育成指標を活用した人材育成に向けて

大阪府教育センター 教育企画部 学校経営研究室

教員育成指標の活用は、すべての教員にとって必要な資質・能力の範囲や基準が明確となり、教員自身が校内外の研修等を通して自らの資質・能力を高めることが可能となります。また、管理職等が教員一人ひとりのキャリアに応じて明確な観点でOJTを進めるなど、それぞれのキャリアステージで必要とされる資質・能力の育成を計画的に進めることにより、学校組織力の向上が期待できます。これらに取り組む実践発表校及び取材協力校の事例等を通して、育成指標を活用した組織的な人材育成について考察します。

## 実践 発表

「ともに学校課題を考える  
-通信制高校における人材育成-」

府立桃谷高等学校

## 研究 報告

「育成指標を活用した人材育成に向けて  
-取材から見えてきたこと-」

大阪府教育センター 教育企画部 学校経営研究室

## 参加者のアンケートより

- ・大阪府教員等育成指標について内容や活用方法が具体的に示され、理解しやすかった。自身を含めた教職員の現状について、どのような指標で振り返り、次への目標につなげていけば良いかが明確に示されていた。今後、現任校に合った形で活用できる方法を工夫していきたい。
- ・実際に現場の話を聞いたうえで報告でしたので、実践的で、勉強になりました。
- ・桃谷高校の先生のお話で実践があって、よく理解できました。育成指標の活用がよく分かりました。
- ・学校組織活性化のため、人材育成を行い「学び続ける教員」の基本を考えさせられました。